



どのように身を守るか



揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、

身の安全を最優先に行動しましょう。



丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。



なぜ身の安全が最優先なの？

**けがをすると、その後の行動が
できなくなるからです。**



地震時にあわてて行動すると、転んだり、落ちてきた物やガラスでけがをすることがあります。また、揺れが激しい時に火を消そうとすると、鍋のお湯をかぶるなどけがをするおそれがあります。けがをすると、地震直後の火の元確認や初期消火などの行動ができなくなります。



火の始末はどうするの？

**揺れがおさまってから、
あわてずに行いましょう。**



現在の都市ガスやプロパンガスは、震度 5 程度で自動的にマイコンメーターがガスの供給を遮断するように設定されています。火の元の確認や、出火した場合の初期消火は、揺れがおさまってからあわてずに行いましょう。また、避難が必要な時は、ガスの元栓や電気のブレーカーを切って避難しましょう。

どのように備えるか

していますか？家具類の
転倒・落下・移動防止対策



地震に備えて室内を安全に！

地震に対する家具類の対策をしましょう。



■安全な居住空間をつくる

寝室などには、できるだけ家具類を置かないようにしましょう。

■家具類のレイアウトに注意

家具類が転倒・落下・移動しても、避難に支障がなくけがをしないような家具の配置をしましょう。座る場所や寝る場所の付近では、背の高い家具類は置かないようにしましょう。

■家具類の転倒・落下・移動防止

家具やテレビなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておきましょう。特に就寝中の地震発生に備えて、寝室の家具は優先的に固定を行ってください。重いものを下に収納することで、家具の重心が低くなり転倒しにくくなります。



地震前

転倒・落下・移動防止
措置をしていないと...



地震後



なぜ家具類の対策が必要なの？

地震の際、家具類の転倒・落下・
移動によるけがが多いからです。



近年に発生した直下地震でけがをした原因を調べると、約 30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。高層階では、低層階に比べ揺れが大きくなる傾向があり、転倒・落下に加え家具類が大きく移動する危険があります。



東京の火災を防ぐために

消防では、消火や救助、救急活動、そしてみなさんの生命や財産を火災から守るために次のような火災予防業務を行っています。



建物の防火安全を確保する — 建物ができあがるまで —

工事着手前の打合せ



建物の設計段階から法令に合っているかチェックし、火災に対して安全な建物にするためのアドバイスをしています。

建築中の検査



工事中に設計通りに作られているか、完成後には見られない部分までチェックします。

完成後の検査



使用する前に建物や設備が設計通りにできあがっているか最終チェックします。

建物が建てられる前から火災予防の取組みは、始まっています。



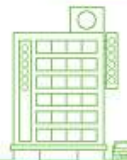
設計



工事



完成



使用開始



危険を見逃さない

— 建物を使い始めてから —

立入検査



建物内に立ち入って、万一、火災が起きた場合でも、消火器などの設備がすぐに使えるようになっているか、非常口や階段が安全に逃げられるように管理されているかなどを確認・検査します。



階段に荷物が置かれているなど消防法令に違反している場合は、早くなおすように促します。

命令

消防法令違反をそのままにしている場合は、早くなおすように命令をします。



消防法令違反がなおり、安全になったことを確認します。



違反をそのままにしておくと重大な事故になることがあります。

公示

消防法による命令の公示
東京都〇〇区〇〇一丁目2番3号
〇〇ビル
株式会社〇〇不燃部
代表取締役 〇〇〇〇
この防火対象物は、消防法に違反しているため、平成25年〇月〇日、一次の事項を命じたものです。
命令事項
平成25年〇月〇日までに、9階階段部に存置されたダンボール箱を除去すること
平成25年〇月〇日
東京消防庁
〇〇消防署長



命令をした建物に命令内容を掲示し、都民のみなさんに知らせます。



火災原因を調べる —火災の焼跡から真実を究明し火災を防ぐ—



現場調査



ガステーブルの鑑識

火災が発生すると、消火や救助を行う一方で、火災の原因を科学的に究明しています。調査の結果は、出火防止の広報などを通じて同じような火災の防止に役立てています。

また、製品に起因する火災の場合は、製造事業者などにも改善を求めています。

出火原因 ワースト3

2012年
災害統計
出火原因まとめ



第1位 放火



夜中、ごみ集積場に捨てられていたごみに放火され出火しました。
放火は、1977年から35年間連続で出火原因の第1位です。



防火のポイント

- 1 ごみは夜間に捨てず、決められた日の朝に出しましょう。
- 2 建物の周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- 3 敷地内に不審者が侵入できないようにしましょう。



第2位 たばこ



ベッドの上で喫煙した際、たばこの火種が布団に落ちたのに気付かず寝てしまったため、出火しました。



防火のポイント

- 1 寝たばこはやめましょう。
- 2 灰皿に、必ず水を入れるようにしましょう。
- 3 吸殻を捨てる場合は、水に濡らすなど、完全に消火してから捨てましょう。



第3位 ガスこんろ



天ぷら油を温め中、火をつけたままその場を離れたため、油が過熱して出火しました。



防火のポイント

- 1 点火したら、その場から離れないようにしましょう。
- 2 離れるときには、スイッチを切りましょう。
- 3 揚げ物をするときは、過熱防止装置付きのこんろを使いましょう。



ご注意!

電気(電気コード・コンセント)による火災が増加しています。

コンセントと差込みプラグの間にほこりが溜まりショート(トラッキング現象)し出火しました。[左写真]



防火のポイント

- 1 電気製品を使用しないときは、差込みプラグを抜いておきましょう。
- 2 長期間、差したままの差込みプラグは、定期的に乾いた布などで清掃しましょう。
- 3 家具の裏などの隠れているコンセントには注意が必要です。
- 4 電気コードは重い物による踏みつけや折れ曲げなどにより、コードが傷み出火する場合があるので気をつける必要があります。また、電気コードを束ねたまま使用しないようにしましょう。



建物の優良・違反の情報を発信中!!

知っていますか？ 優マーク 優良防火対象物認定表示制度

東京消防庁では、防火上優良と認められる建物に対して、優良防火対象物認定証（通称：優マーク）を建物などに表示できる制度を行っています。認定された建物は、東京消防庁ホームページで公開しています。

また、地図情報「防火対象物の安全に関する地図情報」でも確認することができます。

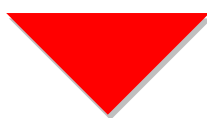


優良防火対象物認定証（通称：優マーク）

違反対象物の公表制度 消防法令違反の建物がホームページで確認できます。



携帯・スマートフォンやパソコンから消防法令違反の建物の情報や地図上で建物の安全に関する情報を確認できます。みなさんが建物を安心して利用するための目安となりますので、ぜひご活用ください。詳しくは、東京消防庁のホームページをご覧ください。



携帯・スマートフォンから



東京消防庁モバイルホームページ

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/mob/>

東京消防庁ホームページ

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

建物の安全に
関する情報を
地図で検索が
できます。



新たに第九消防方面本部
消防救助機動部隊(9HR)が発隊!!

A blue banner with white text. On the left is a small cartoon mascot. The text reads '新たに第九消防方面本部' (Newly established 9th Fire Division) and '消防救助機動部隊(9HR)が発隊!!' (Fire Rescue Task Force (9HR) is dispatched!!).

1995年に発生した阪神・淡路大震災の教訓から、通常の消防力では対応が困難な救助事象に迅速に対処するための部隊の必要性が提起されました。このため創設されたのが、消防救助機動部隊（愛称：ハイパーレスキュー）です。

ハイパーレスキューは特殊な技術・能力を有する隊員と、大型重機などの特殊車両を備え、多数の人命を早期に救助することを目的としたスペシャリスト部隊です。

東日本大震災の教訓を踏まえて、今年3月末、新たに八王子市に第九消防方面本部消防救助機動部隊（9HR）を整備します。これにより、震災をはじめとする大規模複合災害に対し、迅速かつ的確に対応する体制が強化されます。



消防救助機動部隊の腕章



〔画像探査装置〕

先端のカメラを倒壊した建物のすきまに差込んで、閉じ込められている人を探します。

災害の最前線で活躍するハイパーレスキュー(HR)



第九消防方面本部消防救助機動部隊

9HR

NEW



震災等の大規模災害に対する能力に加え、放射性物質、生物剤、毒劇物・危険物等のNBC災害に対し、専門の知識・技術・装備を備えた部隊です。
(八王子市)

第二消防方面本部 消防救助機動部隊

2HR



震災等の大規模災害に備え特殊な技術・能力を有する隊員と高度な装備・資器材により編成する部隊です。(大田区)





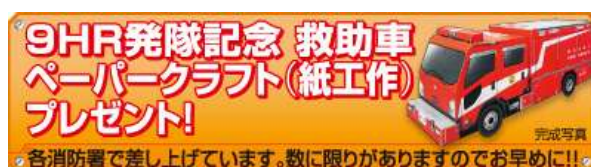
放射性物質、生物剤、毒劇物・危険物等の NBC 災害発生時に的確かつ迅速に対応するための専門部隊です。(渋谷区)



震災対応を主要任務とする一方、水面上における急流救助活動にも対処できる装備と技術を有しています。(足立区)



震災等の大規模災害に備え特殊な技術・能力を有する隊員と高度な装備・資器材により編成する部隊です。(立川市)



Mini コラム 消防の仕事や街のひとのためになることが、 たくさん学べる消防少年団!!



消防少年団は、消防の仕事や防災に関心のある小学生から中学生までの少年少女で結成されています。消防の仕事や火災予防について学んだり、防火・防災の呼びかけや地域の美化活動など社会のためになる活動をしています。またキャンプなどの楽しい野外活動も実施しています。

東京消防庁では、地域の消防署ごとに消防少年団が結成され、防火・防災に関する知識・技術を身につけ、規律ある団体活動や奉仕活動などを行っています。消防少年団は、社会の基本的なルールをきちんと守り、思いやりの心を持った責任感のある大人に育つよう、日々の活動に取り組んでいます。

「2つの安心」を是非ご活用ください!!

安心
1

病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 急な病気やけがで迷ったら
東京版 救急受診ガイド
病気やけがの緊急度や受診する科目をパソコンや携帯電話などで確認できる
「東京版 救急受診ガイド」のサービスを東京消防庁ホームページで提供中

携帯電話
からはこちら

QRコード

スマートフォン
からはこちら

QRコード

※冊子版「東京版救急受診ガイド」でも確認できます。詳しくは最寄りの消防署まで

安心
2

電話での
ご相談は

東京消防庁
救急相談センター

#7119

つながらない場合は… 23区▶03-3212-2323 多摩地区▶042-521-2323

[「東京版 救急受診ガイド」はこちらから](#)

好評につき第2弾!!
鞆にすっぽり入るスリムデザイン。
真空二重構造で温・冷長持ち。容量 160ml



色・デザイン等実際と異なる場合があります。

＜応募方法＞ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119（住所不要） 東京消防庁広報課「広報とうきょう消防」編集担当

＜ 締 切 ＞平成 25 年 3 月 11 日（月）必着

（応募はお 1 人様につき 1 枚とさせていただきます。）

＜当選発表＞プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選・アンケート集計事務にのみ使用させていただきます。